

令和2年 8月の大阪森林便り

目次

- (1) 🌳 日本でも高層木造時代が到来
- (2) 🌳 木材から美酒・・・次々と誕生 杉酒・桜酒・白樺酒
- (3) 🌳 カナダ産の丸太 輸入できず 初のTPP違反の恐れ
- (4) 🌳 住宅用の製材品 対日価格横ばい 7~9月カナダ産
- (5) 🌳 国産丸太1割安 住宅需要減 豪雨の影響は不透明

🌳 今月の木の話 木材の「腐る」という欠点を除く方法

(1) 🌳 日本でも高層木造時代が到来



*オーストリアには、木造建物の階数制限がありません。

*ノルウェーでは18階建て、高さ85Mの世界一高い木造ビルが2019年3月に完成。

*アメリカのシカゴで80階建ての木造オフィスビルが、ケンブリッジ大学を中心にプロジェクトが進行中。

*イギリスのロンドンでも、80階建ての木造超高層ビルが提案されています。

*スウェーデンのストックホルムでは、約130Mの高さの居住用高層ビルの計画が進行中。

*三菱地所は、仙台市内に賃貸マンションを2019年2月に竣工。竹中工務店の設計施工。

・CLTを床材として使用した日本初の木造高層建築物（10階建て）。

*竹中工務店は、東京都で単身者向け住宅を2020年2月に竣工。RC造+木造12階建て。

*野村不動産と竹中工務店は、木造ハイブリット高層マンションを2019年10月に着工。

・東京都で14階建て、2021年3月竣工予定。

*㈱シェルターは、仙台市に純木造7階建てビルを建設。

・2020年5月着工、2021年春竣工予定。

*ヒューリック㈱は、東京都に12階建ての耐火木造商業ビルを建設。2020年2月着工、2021年秋ごろ完成予定。

*大林組は次世代型研修施設として、構造部材すべてを木材とした11階建ての高層木造耐火建築物の建設に着手。2020年3月着工、2022年3月竣工予定。

・大林組の耐火木造技術「オメガウッド」を構造部材として使用。

*東京都の玉川大学・玉川学園は、9階建ての中高層純木造学生寮を建設するプロジェクトに着手。2021年3月着工、2022年12月竣工予定。

*住友林業は2018年2月に、高さ350Mの木質構造ビルを建てる技術を確立する「W350計画」で、超高層木造への挑戦を発表。地上70階建ての複合施設。

*木材を使うメリットは色々ありますが、森の循環によるCO2削減はその最大のもの。

*十分に成長した木を木材として利用することで炭素を固定化し、新しい木を植えることができ、森の循環が起こります。

*森林内にCO2をよく吸収する若い木が常に一定数存在する状態が保たれ、CO2の削減につながります。

(2020年7月1日 大阪木材仲買協同組合「仲買たより」記事より抜粋・引用)

(2) 木材から美酒・・・次々と誕生 杉酒・桜酒・白樺酒

*木材の細胞壁にもアルコール発酵の原料となるブドウ糖が詰まっていますが、木質化した細胞壁の堅さに阻まれて、酒造りには未利用のままでした。

*その木材の壁が人類史上初めて、森林総合研究所（茨城県つくば市）によって突破。

*杉酒、桜酒、白樺酒いずれも、アルコール濃度約20%の蒸留酒で無色透明。

*燃料用アルコールなら既に木材から生産されています。

*木材から酒を造るには、細胞壁をほぐしてアルコール発酵の原料となるブドウ糖が鎖状につながったセルロースをむき出しにしなければなりません。

*杉酒では、1kgの乾燥材からアルコール濃度約30%の蒸留酒300ミリリットル。

*間伐材に新たな用途が生まれ、森林保全に貢献するはず。

*木材を酒に変える研究は、試験製造の免許を国税庁から得て平成29年から始まりました。

*現在、進めている杉酒の安全性試験は今年度中に完了予定。

(2020年7月15日 産経新聞記事より抜粋・引用)



(3) カナダ産の丸太 輸入できず 初のT P P違反の恐れ

日本、問題提起へ 履行監視重要

*環太平洋経済連携協定（T P P）で、増やすはずだったカナダからの丸太輸入が逆に急減。2020年4月の入荷はゼロ。5月も前年同月の5%。

*日本は木材の6割強が輸入。

*丸太の輸入数量は（2019年）はカナダからが28%、米国から50%。

*カナダ産の丸太は、今年1~5月の累計で97,380M3と前年同期比77%減。

*木材大手のストライキなどで昨年から供給量は減少。

*日本が求める輸出を認めなければ、初のT P P違反となる恐れ。

（2020年7月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

(4) 住宅用の製材品 対日価格横ばい 7~9月カナダ産

*カナダ産製材品の7~9月期の日本向け価格が前四半期から横ばい。

*米国でD I Y向けの需要が拡大。

*カナダ産のS P F（トウヒ・マツ・モミ類）は、4~6月期には船賃の上昇などを受けて値上がりしていました。

*米国では5月に住宅着工が増加に転じました。

*カナダのメーカーが減産を進めていた影響もあり、現地の製材品価格は上昇。

*日本の需要は低調。

*入荷量も1~9月の累計で1割減の見込み。

（2020年7月17日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



(5) 国産丸太1割安 住宅需要減 豪雨の影響は不透明

*国産丸太が急速に値下がり。

*全国の5月の平均取引価格は、中日用（中程度の太さ、梁など）のスギ丸太が前年同月比11%安。柱用は6%下がりました。

*ヒノキ丸太も11%安。

*丸太の出材は12月から梅雨明け前までが多く、梅雨時期は価格が下がる傾向。

*今年は下落幅が大きく、住宅需要の落ち込みが要因。

*6月の針葉樹合板の生産量は、前年同月比で19.5%少なくなっています。

*需要面では唯一、バイオマス発電燃料用のチップ向けが底堅く価格も横ばい圏。

*丸太の供給は潤沢。暖冬で今春の出材量は例年より多くなりました。

*合板メーカーは4月から本格的な減産を続けています。

*九州で需給の緩みが強く、値下がり幅も大きくなっています。

*スギとヒノキの平均価格が前年同月より 27%下落。

(2020年7月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



今月の木の話



木材の「腐る」という欠点を除く方法

*木材を腐らせるのは木に生えるカビ。

*腐朽菌はアメリカ、カナダでは数種類しかありませんが、日本では 400 種類も。

*日本は腐朽菌にとって住みやすい風土。

*腐朽菌は、湿度を 50%前後、あるいは気温を 10 度以下または 40 度以上にすれば理論的に繁殖しません。

*高温多湿な日本では、腐朽菌の繁殖を抑えきることは不可能。

☆木材の防腐剤が開発される前の対処法

●使用法

*木材の表面を焼いて炭化させる。

*腐りやすい部分に銅板を巻く。

●保管法

*湿気を避けて水切りをよくし、風通しを良くする。

*水の中に浸す。

(日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)

